

30歳で完全未経験から
転職して10年経ったら
**フルスタック型
生成AIエンジニア**
になった話

株式会社ビズリンク 呂 和道（ふぁど）

自己紹介

呂 和道(りょ ふあど)

- 85年生まれ(39歳)
- 大学→教員→浪人→大学院で研究→SES→現職
- エンジニア10年目
- 主なミッション
 - 業績を伸ばすためなら「なんでもやる」エンジニア
 - メンバー6名のマネジメント
 - プロダクト営業
 - 受託開発のプリセールス・PM
- 主なスキル
 - Java, Python, JS, TS, Ruby, VB, C#, GAS
 - AWS, GCP
 - 生成AI全般(主にT2T、Agent、WF系)

→ 割となんでもやります(人いないんで)



Xやってます



Voicyはじめました





ふあど | なんでもやるエンジニア

@fadysan_rh

AIエージェントがチームを勝手に組んでシステム作ってくれるサービス見つけてアゴ外れそう...



午後0:17 · 2025年2月28日 · 63.7万 件の表示



11



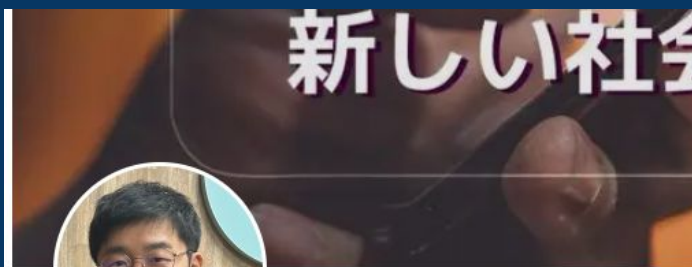
400



2,771



2,903



なんでもやるエンジニアラジオ

ふあど | なんでもやるエンジニア

生成AIを使いこなせるようになる
プログラミングスキルが伸びる
ベンチャー企業について知れる...

もっと読む

9

放送

101

フォロワー

1,733回

再生



シェア

本日の結論

これだけやっとけば、ゼッタイに伸びる時がきます

- ・ 仕事の意義を徹底的に自分で考える
- ・ 技術を行使することに満足しない
- ・ 「分からない」を放っておかない
- ・ 誰かやってるんだからできる

全体の9割は

ここまで徹底的に
やってない
だから勝てる

エンジニアになるまでの略歴

- ・ 22歳：大学卒業
- ・ 23歳~25歳：学校で先生
- ・ 26歳~27歳：大学院浪人
- ・ 28歳~29歳：大学院修士課程
- ・ 30歳：大学院博士課程→この世界で戦っていきける気がしない

マズい

どうしよう

相談しよう

そうしよう

「とりあえずJavaやれ」

「ズス」

エンジニアになるまでの略歴

- ・ 高校バスケ時代の監督
→SES会社の営業部長 相談

エンジニアになるまでの略歴

- ・ 高校バスケ時代の監督
→SES会社の営業部長 相談
- ・ 1日6時間Javaの勉強（完全独学）→1か月半
Java SE Programmer Bronzeを取得

「よし、面談行くぞ」

「え？」

エンジニアになるまでの略歴

- ・ 高校バスケ時代の監督
→SES会社の営業部長 相談
- ・ 1日6時間Javaの勉強（完全独学）→1か月半
Java SE Programmer Bronzeを取得
- ・ 客先の案件面談に連行される
→SESの仕組みも何もわかってない状況

とりあえず「所属している体」
で話しておけばいいんだな

→なんとオファー

→エンジニアキャリアのスタート

はじめてのプロジェクト参画

「プログラミングができる！！」

→VBフォームアプリケーション+DBはAccess...

→しかも運用がメインでコーディングは5%くらい

とにかく仕事で信頼を勝ち取りに行く

→案件は無事終了

2 つめのプロジェクト参画

次の仕事先

- 某日本トップの有名ゲーム端末メーカー
- Javaエンジニアとして参画
- エンドーBPー自社の商流

同時に参画したおじさんエンジニアがいた

「ぜってー負けねえ」

2つめのプロジェクト参画

とにかく業務を覚える（ドメイン知識）

→課された課題をクリア

飲み会には全部参加

→現場メンバー、上長との距離が一気に縮まる

→社員レベルでふるまう

わからないことは全部調べる

→当日やり残したことは当日中に解消（頭の中でOK）

2つめのプロジェクト参画

結果→おじさんエンジニアを振り落とし、
経験3か月の30代エンジニアが残留

→6か月くらいで設計・要件定義も任されるように

→このタイミングで基本情報技術者・応用情報技術者を取得

2 年目突入したころ

→「この現場めっちゃくちゃいいけど、
ここにいたらもう成長しないな」

→別の現場に移動することを提案

→独立系SIerに参画

→プロジェクトは日本トップの**情報革命企業**

→（のちに数十億円規模の案件になった）

→アプローチは同じ

2 年目突入したころ

要件定義から設計までを中心に業務

→ 技術提案もしていく

技術がわからなければとにかく本を読む、のサイクル

3年目～6年目

社員のエンジニアを現場体制として増員するために

- ・ 増員チャンスをうかがう
- ・ 他プロジェクトの課長・部長クラスのタバコに付き合う
- ・ 飲み会に積極的に行く

3年目～6年目

参画プロジェクトで成果をあげるため

- ・ タスクは締め切りより早く出す
- ・ ちょっと未完成の状態を出しつつ、フィードバック軽くもらって方針固める
- ・ とにかく上流に回るための立ち回り
- ・ リーダーと仲良くなる

3年目～6年目

自分のスキルを伸ばすため

- ・ 現場のスキルとは違う新たなスキルを学ぶ
→ Ruby、AWSを独学で勉強し始める
- ・ GASでの業務効率化
→ 自社の事務の方向けに業務外でコーディングして提供

7年目（SES→現職への転職）

副業としてお手伝いしていたところ、
代表から声をかけていただいた

「ふぁどさん、面白いことやりましょうよ」

「ゾス」

7年目～10年目（現職にて）

ほぼ一人目のエンジニアとして

- ・ オールスプシ運用の業務をKintone全面移行
- ・ EC2環境→ECS on Fargateコンテナ環境へ移行
（2プロダクト）
- ・ 各種 社内連携処理の構築→業務効率化
- ・ 新規プロダクトを4サービス構築
（3サービスローンチ、1サービスベータテスト中）
- ・ 受託開発スタート

7年目～10年目（現職にて）

徐々にエンジニアも増員していき、

在籍2年目（ 8年目）→1名→2名→4名

在籍3年目（ 9年目）→4名→5名→6名

在籍4年目（10年目）→6名→7名→…

なりたい組織を自分から提案して、それを実現できている

「超たのしい」

さいごに

技術的な担保をしていくのはしんどい道のり

でも、それは終わらない修行だと思って
時間を出してやっていきましょう。

いつでも考え方の根底は

誰かやってるんだから

自分にもできる

「自己効力感」

あなたにも出来ます
未来は自分で切り開け

ご清聴

ありがとうございました